

今年三月には森友学園の小学校建設に絡み土地等開校に向けて多くの問題が表面化し、開校を断念という結果を招きました。四月には新社会人と成られ仕事につかれた方々、無事に入学試験に合格され学園生活を始められた学生諸君、やがて日本国の発展の為に礎^{いしずえ}となつて頂きたいと思ひます。地域人という雑誌の対談で大坪 檀師^{まゆみ}と清成忠男師は 最近は何でもコンピーターに頼るので眼力を失っている、日本人が持つていたセンスや美意識、倫理観なども眼力がないとみえてこない」と、そのために教育の果たす役割は大きい、学生や部下、家族の持っている能力や個性を引き出し、やる気を起こさせるには教師や上司、親など指導する側の眼力や工夫がひつようになつてくる」と、我々が生活している社会にはルールがあります。ルールに則り誠実に取り組んで社会貢献をして頂きたいものです。

野望の為にはなりふり構わずでは社会の秩序が守れませんし、仮に成功したとしても長続きはしないと思ひます。此の娑婆^{えん}は縁のつながりで巡つています。縁を生かすも殺すも自分の行い次第なのです。他の人が見ているから・・・見ていないから・・・。そういう態度ではいけません。常に正しい行いをしましょう。佛様の教え 「因果応報」という事を忘れてはいけません。必ず蒔いた種は自分で刈り取らなくては成らないのです。要するに悪事の種を蒔けば悪事の実がなつてしまふと言う事です。そして、その責任を取らされると言う事です。此の娑婆は人間として生まれた事は皆平等ですが、男と女の区別から始まり、色々区別される中で差ができて来るのです。逆に差が無い社会生活は無いのです。信心信仰にも当然差が出来ます。富士山は誰が見ても富士山ですし、対象佛は皆に平等なのです。子供にとつて父と母の下で健やかに成長しますが最近では両親ではなく片親の家が増えてきました。半分のエネルギーしかありません。半分は別れて頂く国の税金)でも仕方がないでは通れない道も多々できてきます。足る事を知らない一つです。別れた種を蒔けば別れた芽が出てきます。早く芽を摘むことです。四月二十三日には油掛地藏様にお導きを頂き六道巡りの大祭が終りました。六道を巡りがて極楽に往く切符を閻魔大王様から授けて頂けたと思ひます。人間百パーセントの力は持続しがたい難しいものです。八十パーセント、腹八分目と申すが如く、余裕を持たせた生き方が良いのです。怠けると言う事ではありません。少しの余裕で自分を極める目が出来てきます。目が出来てきますと少しずつ人格が伴つてまいります。人格と共に徳が身に付いてきます。故に、人格者同士の縁が広がつてくると言う事になります。人生は遍路です。諍いが多い貧なる道^{ひん}を避け、家族そろつて和みの中に一縁、一縁と足を踏みしめ、歩歩の道場も関所毎にお地藏様に導いて頂き、福なる道を進んでいきましよう。